

ONKYO® DHT-SR1

クイック接続・操作ガイド

接続編



当クイックガイドは、本機とシアタースピーカーラックCB-SP1200シリーズやその他のAV機器との基本的な接続方法・操作方法について説明しています。

詳細については各製品の「取扱説明書」や「組立説明書」をご覧ください。

STEP1：設置位置について

スピーカーラック

CB-SP1200XTなどの3chスピーカー内蔵TVラックです。

本機

スピーカーラックがCB-SP1200XTの場合はラックの中に収納してください。

その他の場合は、部屋の隅、または部屋の前方1/3範囲内が効果的です。

左右サラウンドスピーカー

視聴位置の横または後斜めに配置します。左右対称で視聴者の耳より1m高い位置が理想です。

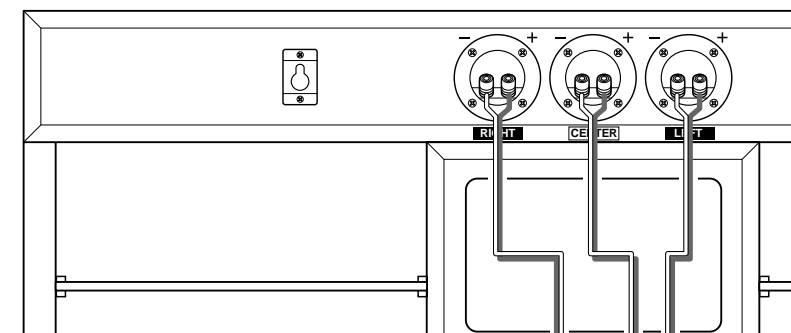
STEP2：基本的な接続

映像接続は映像機器から直接テレビに接続してください。

ご注意 すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。

シアタースピーカーラック

組立については、シアタースピーカーラック製品付属の組立説明書をご覧ください。



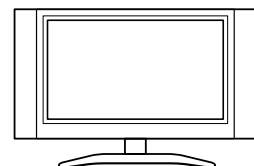
デジタル インプット オプティカル
DIGITAL INPUT(OPTICAL)端子

本機のDIGITAL INPUT(OPTICAL)端子は3つありますので、3種類の機器が接続できます。DIGITAL INPUT(OPTICAL)端子1、2、3による性能の違いはありません。

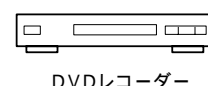
POINT

DVDプレーヤーなどと接続してドルビーデジタルやDTS音声を楽しむには、DVDプレーヤー側のドルビーデジタルおよびDTS出力設定が必要な場合があります。各映像機器の取扱説明書をご覧ください。

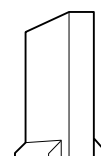
オーディオ用
光デジタルケーブル
(本機には1本付属)



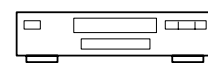
地上、BS、110度CSなど
デジタル放送対応チューナー
搭載のテレビ



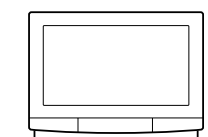
DVDレコーダー



ゲーム



ビデオデッキ



デジタル放送対応チューナー
非搭載のテレビ

デジタル音声出力端子
(オプティカル)へ

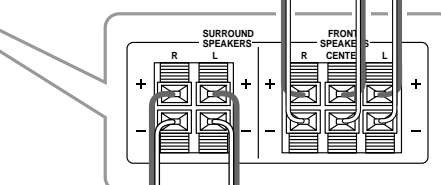
オーディオ用
ピンコード
(別売り)

アナログ音声
出力端子L/Rへ

本機

ライン インプット
LINE INPUT端子

スピーカーの接続はプラス(+)とマイナス(-)を間違えて接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続すると、音声が不自然になりますのでご注意ください。



右サラウンド
スピーカー

左サラウンド
スピーカー

POINT

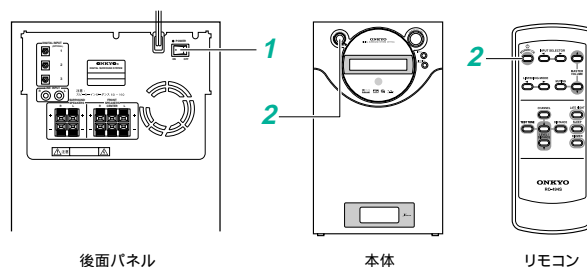
各スピーカーのレベル(音量)の調整や、距離設定が必要な場合は本機取扱説明書をご覧ください。

操作編

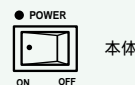


STEP1 : 電源を入れる

リモコンのボタンは で表示しています。



- 1 本体後面パネルのPOWERスイッチを「ON」にする。

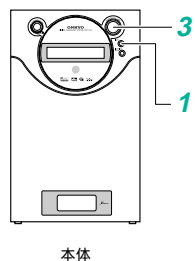


- 2 本体前面パネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す



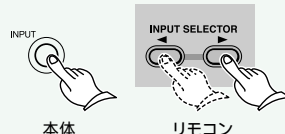
STEP2 : 機器を選んで演奏する

リモコンのボタンは で表示しています。



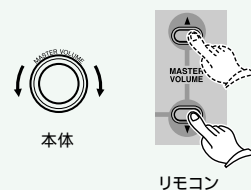
- 1 本体のINPUTボタンまたはリモコンのINPUT SELECTOR / ボタンを(くり返し)押し、入力を選ぶ

DIG 1 : DIGITAL INPUT 1 端子に接続された機器
DIG 2 : DIGITAL INPUT 2 端子に接続された機器
DIG 3 : DIGITAL INPUT 3 端子に接続された機器
LINE : LINE INPUT 端子に接続された機器



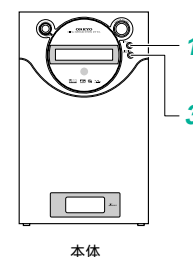
- 2 選んだ機器の演奏を始める

- 3 本体のMASTER VOLUMEツマミまたはリモコンのMASTER VOLUME / ボタンで音量を調整する



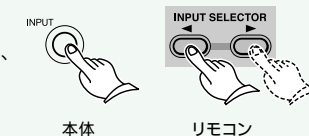
STEP3 : リスニングモードを使う

リモコンのボタンは で表示しています。



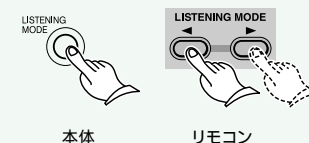
- 1 本体のINPUTボタンまたはリモコンのINPUT SELECTOR / ボタンを(くり返し)押し、演奏したい機器を選ぶ

DIG1 DOLBY D



- 2 選んだ機器を演奏する

- 3 本体またはリモコンのLISTENING MODE / ボタンを押して、リスニングモードを選ぶ



リスニングモードについて

DOLBY DIGITAL DTS (Digital Theater System) MPEG-2 AAC

劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれるサウンドが体験できるサラウンドモードです。DOLBY DIGITALやDTSはDVDなどの再生時に楽しむことができます。MPEG-2 AACは、BSデジタルや地上波デジタル放送で採用されている音声フォーマットです。この方式のソースの再生時に楽しむことができます。

DOLBY PRO LOGIC

映画に最適なMovieモードと音楽再生に最適なMusicモードの2つのモードが選択できます。Movieモードでは、従来モノラルで帯域の狭かったサラウンドチャンネルがステレオ再生になり、より移動感のある再生が楽しめます。また、Musicモードでは、2チャンネルの音楽に対しても自然な音場感をサラウンドチャンネルより再生します。DOLBY PRO LOGIC は、 マークのついたVHSやDVDビデオ、または一部のテレビ番組再生時に楽しむことができます。また、MusicモードはCDなどのステレオ音楽やライブを記録したDVDにも適しています。

STEREO

左右フロントスピーカーとサブウーファーから出力されます。